

# Application for Participation

## Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

発見！ ぼくらのふるさと 植田

### Outline of the way the Project (s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

#### 1 Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまで地域の豊かな自然を生かした教育活動を実践してきた。そこで、さらに地域をみつめ、地域を知り、地域に学び、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を推進していくために、「発見！ぼくらのふるさと植田」をテーマに設定した。地域に密着した学習を系統的に行うとともに、持続可能な開発のための教育（ESD）を推進することを通して、「人間性豊かな植田っ子」の育成をめざす。

ESDを推進するにあたって、全職員で学習を深め、共通理解して教育課程の見直しを行った。生活科・総合的な学習の時間を中心に、「地域環境を生かした栽培活動」「地域学習に関する活動」「地域の人々に触れる活動」「地域の文化や歴史に触れる活動」を取り入れ実践していくこととした。

#### 2 Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDを、自分たちが住む町の自然や文化、歴史についての学習を深め、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であると捉え、その資質や能力の基礎的な部分を育てることであると考えている。

そのため、本校では4つの活動で、次の目標を掲げている。

##### (1) 地域環境を生かした栽培活動

地域の豊かな自然に気づき、米づくりや野菜の栽培を通して、自然の厳しさや人々のたくましさを感じとる。

- ・米づくりの体験（5年生）
- ・農園での栽培活動（1～3年生）

##### (2) 地域学習に関する活動

地域の歴史や文化への理解を深めることで、現在の生活に至る変化に気づき、現在の生活を築いた人々の思いから、力強く生きる思いを感じとる。

- ・校区内の「池」の調査活動（4年生）
- ・校区の文化財等の見学（6年生）

##### (3) 地域の人々に触れる活動

地域の特色を知るとともに、そこに暮らす人々との交流を通して、思いやりを育てるきっかけとする。

- ・校区老人会の方との交流活動（1年生）
- ・校区内保育園児との交流活動（1、2年生）

##### (4) 行事等を関連づけた活動

保護者、地域住民と一体になって育ち続ける子どもたちの姿を通して、地域の誇りと愛着を育むことができるようにする。

- ・運動会、学芸会、作品展、授業参観

### 3 Execution (プロジェクトの実施)

植田校区は、戦前は小集落であったが、池は多く、現在もその大部分が残っている。植田全体の地形は南が高く北が低く、池は南の台地にあり、水は郷中を通り北に流れて田畑をうるおして梅田川に注いでいる。このような環境の中、昔から農業が盛んな地域である。戦後になって宅地化が進み、鉄道の開通や道路の整備により「農村の植田」としての姿は変わってきている。

こうした環境の変化の中で、子どもたちが自分の住んでいる植田について知り、自分の思いをもって植田を語り、植田を愛することができるようになれば、社会を理解し、誰とも協調してともに生きようとする子どもになると考えた。そのために、各学年で生活科や総合的な学習の時間などで地域学習と行事とを関連づけて活動を進めていく。

#### ・各学年別の取り組み

- 1・2年生…自分の野菜を育てよう
- 3年生 ……植田のいいところを見つけよう
- 4年生 ……植田の池の秘密を探ろう
- 5年生 ……植田米づくりにチャレンジ
- 6年生 ……植田の歴史を探ろう

6年生では、校区の歴史に重点を置き、下記のような「ESD カレンダー」を作成して取り組んでいる。

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
国語										○ふるさとのよさを紹介しよう	
社会											○戦時中の話を聞く
図画工作											○春の風を感じて (車神社の写生)
道徳											○学校のほこり
総合											「植田の歴史をさぐる」

#### (1) 地域環境を生かした栽培活動

5年生が米づくり(もち米)を行っている。田おこし、代かきから始まり、田植え、草取り、水の管理など地域の方の協力を得ながらも自分たちの手で育てている。この活動を通して、子どもたちは栽培の苦労を経験し、感謝の気持ちを大きくする。収穫後のもちつき会では、率先して行動する子どもの姿が印象的である。

低学年は、農園や学級花壇を使って野菜作りを行っている。毎日水やりをしながら大きくなっていく様子を楽しんでいる。



5年生 「植田米づくりにチャレンジ」



2年生 「夏野菜を植えよう」

(2) 地域学習に関する活動

地域の文化や歴史への理解を深めるために、車神社での写生や見学、地域の方から戦時中の話を聞く会を行っている。これらの活動を通して、開拓の苦労や地域の歴史を知り、地域の人々の生きる力を感じとっている。



4年生 「植田の池を調べよう」



6年生 「戦時中の様子を聞こう」

(3) 地域の人々に触れる活動

図書ボランティアによる読み聞かせや地域在住の教員OBによる学習支援など、教育活動にとっても協力的な地域である。1年生の「昔の遊びを楽しもう」では、多くのお年寄りの方が参加し、子どもたちとの交流を楽しんでいる。他にも、クラブ活動や運動会など地域の人との交流を通して思いやりの心を育てている。



1年生 「昔の遊びを楽しもう」



3年生 「俳句をつくろう」

(4) 行事等を関連づけた活動

運動会、夏休み作品展、学芸会、学校公開日（年2回）、授業参観（年2回）  
あいさつ運動（社明運動を兼ねる）、老人会の方との交流会、校区文化祭に参加など、  
児童・保護者・地域が一体となって成果を発表する機会をもつことで、地域の誇りや  
地域への愛着心を育み、人とのかかわりやつながりを重視していく姿勢を養っている。

4 Type of materials to be used (使用する教材)

「校区のあゆみ 植田」 豊橋市政施行100周年記念誌 2006年  
「かがやく とよはし」 豊橋市立小学校社会科副読本編集委員会 2011年  
「夢を見つけ夢をかなえる航海ノート」 愛知県教育委員会 2012年  
「小学校 キャリア教育の手引き」 文部科学省 2010年

5 Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

児童の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- |  |
|--|
| <p>①児童のさまざまな活動への成果を、事後のまとめや感想などから把握する。<br/>②学習や活動のまとめとしての授業参観や作品展、行事などでの成果の発表、意欲や態度を観察し評価する。</p> |
|--|

上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や、行事・保護者会後のアンケート調査などから、ESDアクティビティプログラムの見直しを図り、地域とともに生きる植田っ子の育成のための活動内容を改善していく。

*On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.*

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター（※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会）に活動のレポートを提出します。）

7/16/2013

Date (日付)

校長 豊橋市立植田小学校

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職)

Institution's name (学校名)